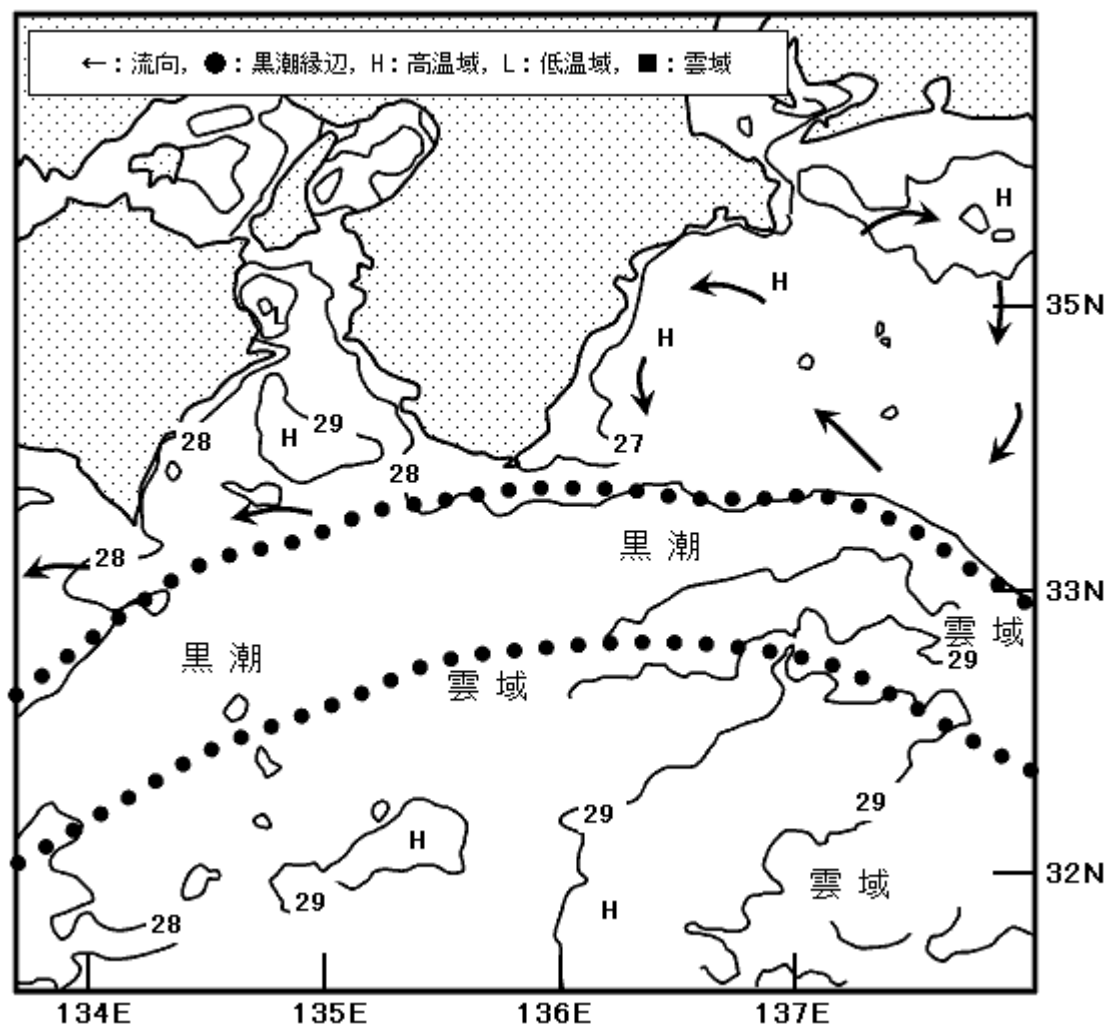


1. 海況の経過



上に三重県の人工衛星画像海況速報(H19.9.22~23)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は28~29℃台である。

表面水温は播磨灘が27℃台で、紀伊水道内部が27~28℃台で、外域は28~29℃台である。特に、外域中央部に29℃台の暖水域がみられる。

黒潮の北側で室戸岬沖へ向けて暖水が波及している。

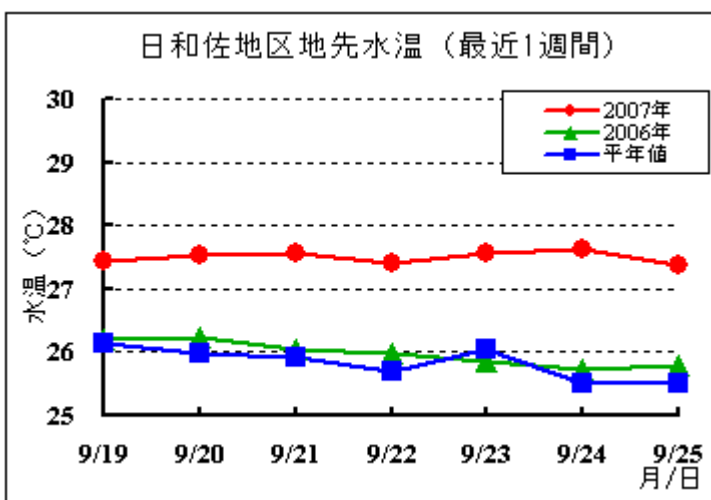
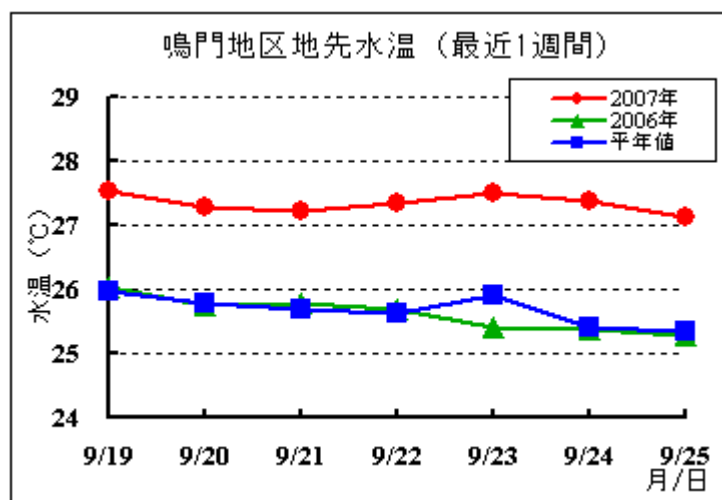
漁業調査船「とくしま」が9月10、13、19日に行った海部沿岸海区の海洋観測結果では、水温は全層とも「やや高め」の27.9℃~18.6℃であった。

海部沿岸海区観測結果 (観測日 2007/09/10、13、19)

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	27.9	27.5	27.1	26.5	24.1	18.6	今年値	33.5	33.6	33.7	33.8	34.3	34.6
平年偏差	1.1	0.8	0.7	0.7	1.0	0.7	平年偏差	0.5	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1
前年偏差	1.1	0.6	0.1	-0.6	-2.9	-3.2	前年偏差	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「高め」の27.1~27.5℃で、日和佐地区が「やや高め」~「高め」の27.4~27.6℃で、牟岐地区は「平年並み」~「高め」の26.6~27.7℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、かます類が12.5トン(1日1隻あたり85kg)、小小主体にマサバが3.2トン(1日1隻あたり81kg)、マアジが2.7トン(1日1隻あたり62kg)、マルソウダが0.7トン(1日1隻あたり12kg)、ヒラソウダが0.6トン(1日1隻あたり8kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、小主体にヨコワが2.0トン(同13kg)、小主体にタチウオが1.2トン(同49kg)、紀伊水道で小主体にサワラが1.5トン(同36kg)、タチウオが1.4トン(同38kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが7.3トン(同112kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)9月17日～9月23日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	かます類	146	12,462	85	
		マサバ	40	3,230	81	小小主体
		マアジ	44	2,736	62	
		マルソウダ	57	667	12	
		ヒラソウダ	67	560	8	
釣り	海部沿岸	ヨコワ	151	1,994	13	小主体
		タチウオ	24	1,170	49	小主体
	紀伊水道	サワラ	41	1,459	36	中主体
タチウオ		37	1,419	38	中主体	
パッチ網		シラス	65	7,275	112	

特異事項:

- ・播磨灘から海部沿岸でタコクラゲが引き続き出現している。
- ・紀伊水道海区でユウレイクラゲが伊島の東方海域を主に出現しているため、各漁船はそれを避けながら、操業している。

週間予報:

- ・黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」し、潮岬沖で「接岸」する見込み。
- ・地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の26℃台、日和佐地先で「やや高め」の27℃台で推移する見込み。

他県情報:

- ・和歌山県の釣りでスルメイカが10.2トン(1日1隻あたり65kg)、タチウオが2.5トン(同16kg)、イサキが1.2トン(同8kg)水揚げされた。
- ・高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが15.1トン、マイワシが16.5トン、ウルメイワシが16.6トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上